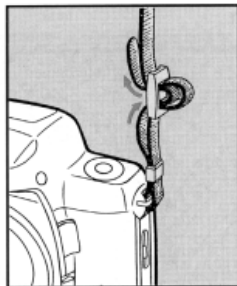


(1)ストラップを取り付けます



カメラの準備と基本操作

I カメラの準備と基本操作

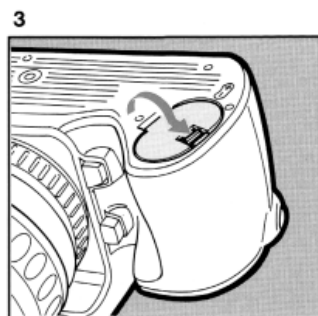
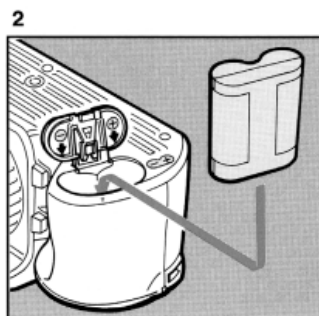
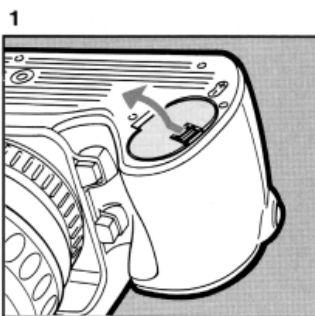
図のように、ストラップを取り付けてください。

*歩行中に、カメラがあまり揺れないように、腰より上にくる長さに調節してください。

*ストラップの先端は、留め具の内側になるように通すと、しっかり取り付けられます。

9

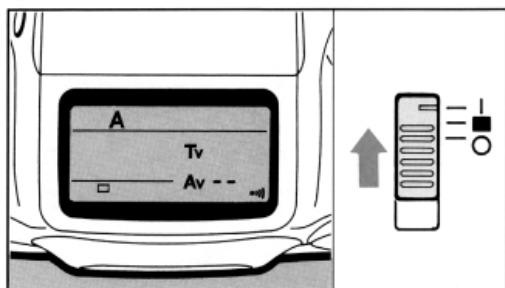
(2)電池を入れます



カメラの準備と基本操作

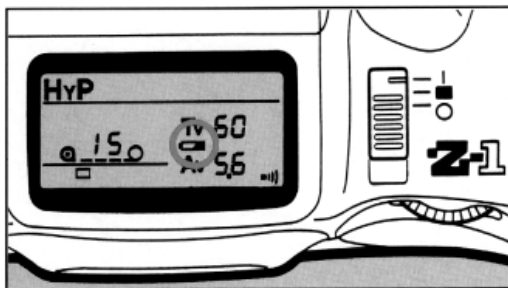
1. 図のように、電池ふたの開放レバーを矢印の方向へ引いて、電池ふたを開きます。
2. 電池の金属接点側を先に、カメラの＋表示に合わせて電池を入れます。
3. 電池ふたを押さえたまま、電池ふた開放レバーを元に戻して電池ふたを閉じてください。

* Z-1 は電池で動きますから、操作をする前には、必ず決められたリチウム電池 **2CR5** 同等品を1個入れます。Z-1 には、サンプルの電池が添付されていますので、この電池をお使いください。



4. 電源スイッチを または にし、図のように表示パネルに表示が出ることを確認してください。

* 電池を上下逆に入れても表示が出る場合がありますが、シャッターボタンを押してもシャッターは切れません。必ず電池を正しい方向に入れてください。



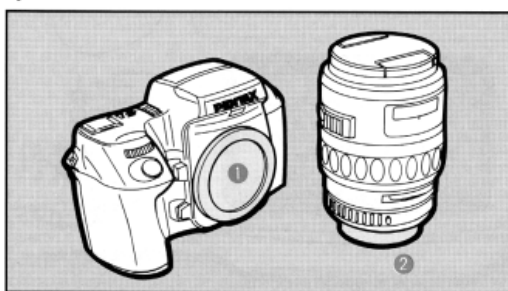
※ 電池が消耗した場合

電池が消耗すると、図のように表示パネルに電池警告 が点灯します。お早めに電池を交換してください。電池警告 が点滅になると、シャッターが切れなくなります。

* 表示パネルの電池警告 が点滅になると、ファインダー内の表示は消灯します。

* 電池を入れ直すと、フィルムカウンターの値と 設定の内容およびISO感度の設定を除いて、Z-1の諸設定は工場出荷時の初期設定に戻ります。

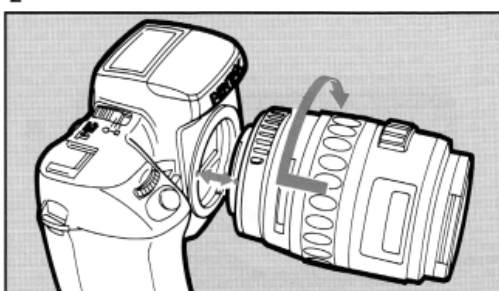
(3) レンズを取り付けます



1. 図のように、①のボディカバーと②のレンズ後カバーを外します。

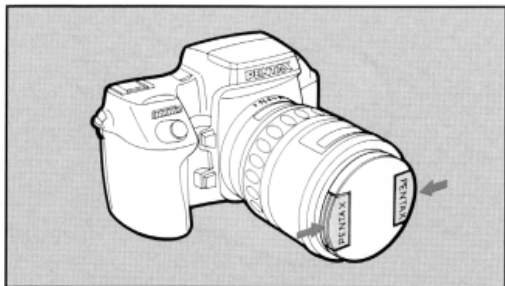
* ボディカバーは工場出荷時のキズやホコリ防止用のものです。保管用には、別売りアクセサリとして「ボディマウントキャップK」が用意されています。

* FAズームレンズの着脱は、不用意なズーム作動を防ぐため、電源スイッチを にした状態で行ってください。



2. ボディとレンズの赤点指標を合わせて、レンズをボディのマウントにはめ込み、レンズを右に回すと「カチッ」と音がしてロックされます。

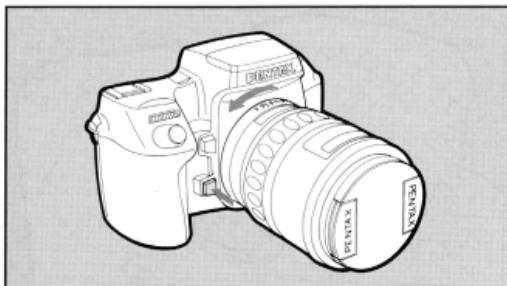
3



3. レンズの前キャップは、図のように矢印部分を内側に押しと外れます。

- * 他社製レンズを本製品に使用されたことによる事故、故障などにつきましては保証いたしかねます。
- * ボディやレンズのマウント面には、レンズ情報接点やAFカプラーがあります。この部分にゴミや汚れが付いたり、腐食が生じると、電気系のトラブルの原因になる場合があります。汚れたときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。

※



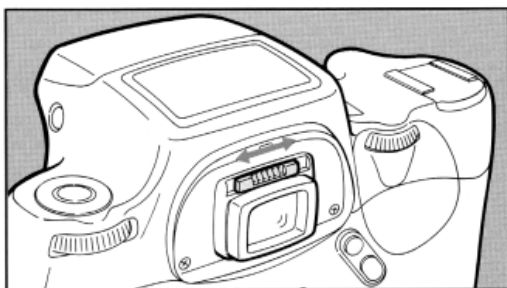
※ レンズを外すには

- レンズを外すときは、レンズロックボタンを押したまま、レンズを左へ回すと外せます。
- * 外したレンズは、接点やカプラーをキズ付けないようにマウント面を上にして置いてください。

13

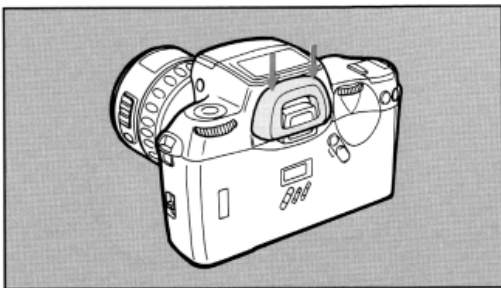
(4) ファインダーの視度を調節します

1



1. カメラを明るい方へ向けて、図のように視度調整レバーを左右に動かし、ファインダー内中央のオートフォーカスフレーム  の線が最もはっきり見える位置に調節します。
- * Z-1 のファインダー接眼部にアイカップ F_D が付いている場合は、押し上げるように取り外してから視度調節をしてください。
- * 視度の調節範囲は、+1.5D ~ -2.5D (ディオプリー) です。

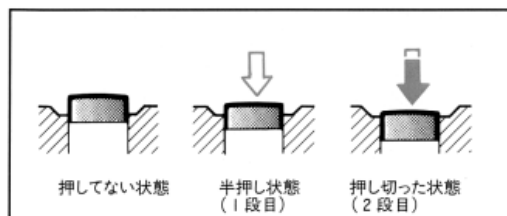
2



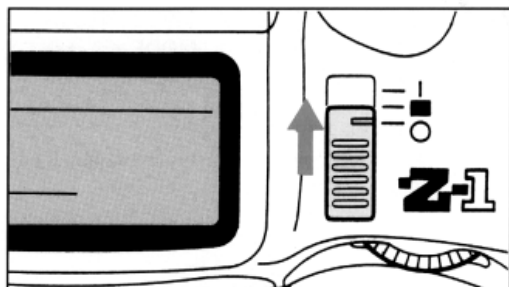
2. 調節が終わったら、アイカップ F_D をファインダー接眼部のアクセサリ取り付け溝に取り付けてください。
- * 取り付けるときは、アイカップ F_D を上から差し込むようにして、アクセサリ取り付け溝に入れてください。

(5) シャッターボタンの操作

- Z-1のシャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを半押し(1段目まで押す)すると、露出計やオートフォーカス機構が動き始めます。さらにシャッターボタンを押し切る(2段目まで押す)と、シャッターが切れ撮影できます。シャッターボタンは、カメラぶれを防ぐためにも、息を止めて指の先でゆっくり押してください。
- * フィルムを入れる前に、実際にシャッターボタンを押してみ、どこまで押すと半押しになるのか、感覚をつかんでください。
 - * モードダイヤルが **ON** になっていると、シャッターボタンを半押ししても露出計の表示やオートフォーカスの作動はしません。また、シャッターボタンを押し切ってもシャッターは切れません。
 - * 露出計のスイッチは、シャッターボタンを半押し後、指を離しても約5秒間入ったままになります。なお、シャッターボタンの半押しを続けると、露出計スイッチも継続します。



(6) 電源スイッチの操作



カメラの準備と基本操作

電源スイッチは3段階になっています。

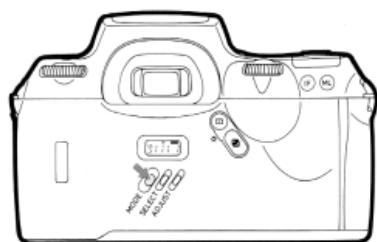
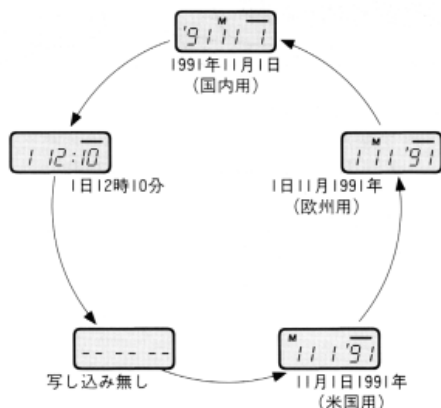
- I** = フルスベックポジション
Z-1の全ての機能が使用可能です。
- = グリーンポジション
簡易撮影モード(プログラム自動露出あるいは絞り優先自動露出での撮影が可能です。)
- = 電源OFF
使わないときは、必ずこの位置にしてください。

(7) データバックを使います

右図のように、矢印の **MODE** ボタンを押して、写し込みたい内容を選びます。表示は下図のように **MODE** ボタンを押すごとに変わり、表示に出ている日付けまたは時間が写し込まれます。

M は「月」の位置を表わしています。

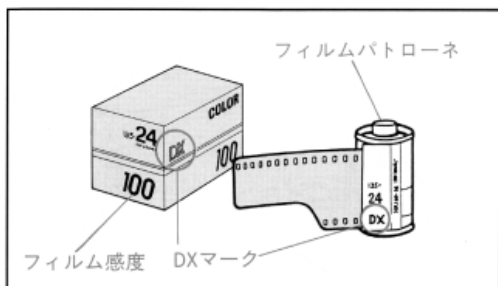
--- はシャッターを切ると点滅をして、日付けや時間が写し込まれたことを知らせます。



- * 日付けや時間の表示は、撮影のたびに写し込まれます。
- * **---** にすると何も写し込まれません。
- * 日付けの表示方法は、3種類あります。
- * データの写る部分(画面右下)に白や黄色のものと、写し込まれたデータが見えにくくなりますので、構図に注意してください。
- * 日付けの修正は、102ページをご覧ください。
- * データバックには、リチウム電池が内蔵されています。データの写り込みが薄くなったり、データバックの表示窓の表示が薄くなったり、消えた場合には電池を交換してください。なお、電池の交換はお近くの当社サービス窓口にて受け付けております。(有料)

(8)フィルムを入れます

1



カメラの操作に慣れるまでは、カメラにフィルムを入れないで練習されることをお勧めします。

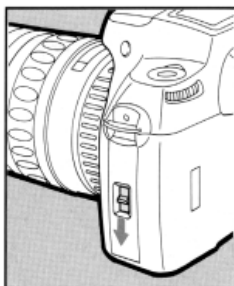
1. 図のように、**[DX]** マークの付いているフィルムを使用すると、フィルム感度は自動的に設定されます。DXフィルムで自動感度設定ができる範囲は、ISO 25～5000までとなっています。

* シャッター幕は非常に薄い幕でできており、精度の高いものです。手やフィルム先端などが当たりますとシャッター幕を破損させる恐れがありますので、絶対に触れないように注意してください。

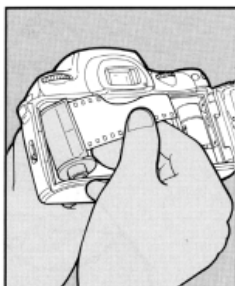
* フィルムを入れるときは、直射日光が当たらないところで行ってください。

* DX以外のフィルムを使用するときは、94ページをご覧ください。

2



3

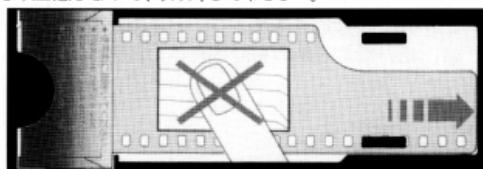


カメラの準備と基本操作

2. 裏ふた開放レバーを矢印の方向へ下げると、裏ふたが開きます。

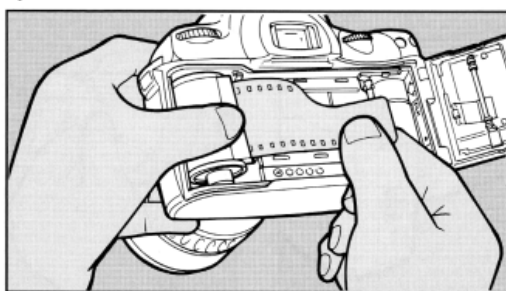
3. フィルムのパトローネを、凸部側を下にして上側から先に入れ、次に下側を入れます。

* カメラを購入後、初めてフィルムを入れるときには、裏ふたを開けて写真のような防傷カバーをシャッター幕に触れないよう注意しながら、取り外してください。



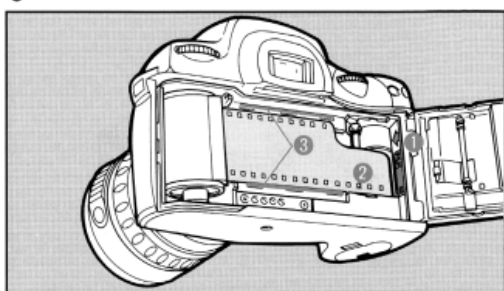
17

4



カメラの準備と基本操作

5



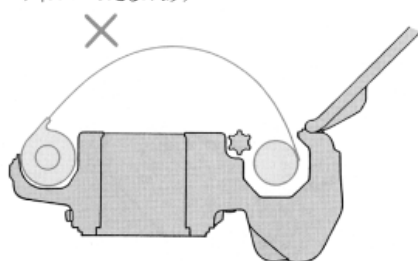
4. 図のように、左手でパトローネを押さえながら、手やフィルム先端がシャッター幕に触れないように気を付けて、フィルムを引き出します。フィルムを引き出し過ぎた場合は、フィルムをパトローネに戻して取り戻します。

* フィルム室内のDX情報ピンは、フィルム感度などを読み取る接点です。キズやゴミ、汚れを付けないように、注意してください。ゴミや汚れがあるときは、乾いた柔らかい布できれいに拭いてください。

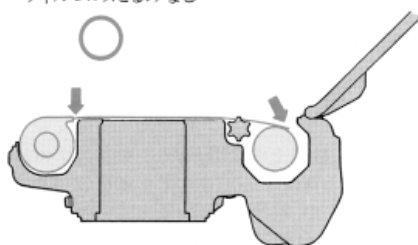
5. 図のように、フィルム先端部を①の赤色先端マークに合わせます。

* フィルムの穴（パーフォレーション）を②の歯（スプロケット）に合わせ、③のガイドレール（図中、赤線部分）の間にフィルムが入っていることを確認してください。

フィルムのたるみあり

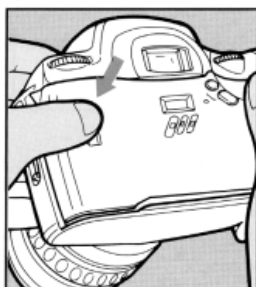


フィルムのたるみなし



*フィルムの先端が極端に折れ曲がっているものは、まっすぐに直すか、曲がった部分を切り取ります。

6

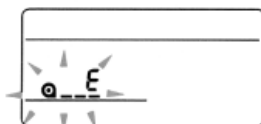


6. 裏ふたを閉め電源スイッチを $\blacksquare$ か $\blacksquare$ にすると、自動的に巻き上げられます。

表示パネルに $\blacksquare$ と $\odot$ が出ていることを確認します。

*表示パネルのフィルム枚数表示は、シャッターボタンを押して撮影することによって1ずつ進みます。

*表示パネルに $\odot$ と F が点滅しているときはフィルムが正しく入っていません。裏ふたを開けて、フィルムを入れ直してください。

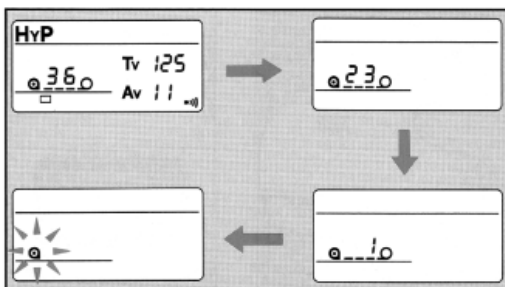


19

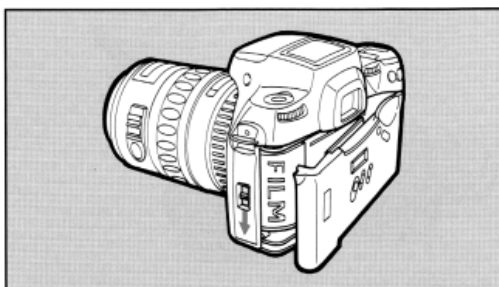
(9)フィルムの巻き戻しについて

1

カメラの準備と基本操作



2



1. フィルムの最後まで撮影すると、自動的に巻き戻しが始まります。

* PF 設定で、「フィルム終了時、自動巻き戻ししない」になっている場合は、次ページの「フィルムの途中巻き戻し」にてフィルムを巻き戻し後、フィルムを取り出してください。

* 巻き戻し中は、表示パネルに $\odot$ と F が点滅して巻き戻し中であることを知らせます。

* 巻き戻し中は、表示パネルに撮影枚数が逆算表示されます。

* 巻き戻しが終了すると、表示パネルの $\odot$ が点滅し、撮影枚数の表示が消えます。

* フィルムは直射日光が当たらないところで取り出してください。

2. 裏ふたを開け、フィルムを取り出します。

* 巻き戻しは24枚撮りフィルムで約10秒です。

* カメラを使わないときは、電源スイッチを必ず切っておいてください。

* 表示パネルの $\odot$ の点滅を確認してから、裏ふたを開けてください。

* フィルムの規定枚数以上の撮影をすると、最後のコマは現像所でカットされる場合がありますのでご注意ください。

* フィルムの巻き戻しが、電池の容量不足により途中で停止したときには、裏ふたは開けずにそのままの状態、電池の交換をしてください。

* PF 設定で、フィルム巻き戻し完了時にフィルムの先端部分を残すこともできます。(90ページ)